

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
8月8日	シムコ デー オオダ テ 2 085-03	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 5 115-09	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 121-10	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 2 593-06	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 6 635-09	デュロック種	なし									

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例)正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
8月8日	シムコ デー オオダ テ 7 759-09	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 7 759-08	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 2 718-03	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 341-03	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 7 405-08	デュロック種	なし									

別記様式第3号

- (注)
- 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 - 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
例)正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 - 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 - 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
8月8日	シムコ デー オオダ テ 7 405-07	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 3 439-05	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 435-08	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 039-06	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 051-09	デュロック種	なし									

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
8月8日	シムコ デー オオダ テ 4 067-07	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 4 077-14	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 4 141-02	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 6 157-05	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 3 119-08	デュロック種	なし									

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
8月8日	シムコ デー オオダ テ 3 220-01	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 1 199-07	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 3 202-07	デュロック種	なし									
8月8日	シムコ デー オオダ テ 3 202-06	デュロック種	なし									